



ふるかわ内科 クリニック通信

2010年
春号
第4号



院長より



よりよい医院をつくるためには患者さんの声を聞くことが必要であるとの思いから、3月、アンケートを実施しました。たくさんの質問事項にもかかわらずご協力いただきました方々、たいへんありがとうございました。200人の方にお願ひし104人の方からご回答いただきました。たくさんの励ましの言葉を頂きとても元気が出ました。また貴重なご指摘もたくさん頂きました。以下にご紹介します。

「予約制にしてほしい」…今後、待ち時間が長時間化するようであれば検討したいと考えております。

「2-3ヶ月薬を出してほしい」…かかりつけ医という立場から原則1ヶ月までとしておりますが事情がある場合はご相談ください。

「何かが足りない気がする」…考えてみました。少なくとも1つは思い当たることがありましたのですぐに対応中です。（生活習慣病の指導のあり方について）

「大腸検査やCT、MRIがあるととってもよい」…スペース等の問題もあり現時点では実施は困難です。必要な方は八尾市立病院等の近隣病院で受けていただいております。

「受付の対応改善」…現在改革中です。ご期待ください。

「とても良心的で満足しています」…ありがとうございます！

スタッフより

(看護師 塩谷七重)

糖尿病患者さんの 足の観察始めました。



- 何のため？ 糖尿病の合併症である足病変（足壊疽など）の発生を予防するためです。
- 足病変とは？ 足の指間や爪の水虫、たこ・魚の目の他、潰瘍・壊疽など幅広い足の病気のことを指します。重症化すると切断することもあります。原因としては、糖尿病神経障害や血行障害、喫煙、身体を守る機能の低下などがあります。
- 観察はどのように？ 看護師が患者様と一緒に足や足裏を見ていきます。タッチテスト（テグス系のようなものを足裏に当て感覚低下の有無をみます）を行います。（右写真）



- ★糖尿病の患者様には順次お声をかけさせていただいています。
- ★今後は観察にとどまらず、足病変の予防の一つであるフットケア外来を始める準備をしております。
- ★患者様の方からもご自分の足について気になる事がございましたら、看護師にお気軽にお聞き下さい。

内科、糖尿病・消化器内科

ふるかわ内科クリニック

糖尿病学会専門医・指導医 消化器病学会専門医 総合内科専門医

大阪府八尾市跡部北の町3-1-26 久宝寺クリニックビル1F

☎072-943-3307 FAX072-943-3308

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9時～午後12時30分	○	○	△	○	○	○
午後4時～午後7時	○	○	△	○	○	△

休診：水曜日・日曜日・祝日・土曜日午後
経鼻内視鏡あります

ホームページ [ふるかわ内科クリニック](#) [検索](#)

連絡事項

「個別の診療報酬の算定項目のわかる明細書」の発行について

当院では医療の透明化や患者さんへの情報提供を推進していくため平成22年4月1日より診療報酬の算定項目のわかる明細書を無料で発行しております。明細書不要の場合は受付にお申し出ください。



糖尿病コラム

糖尿病の新治療薬である「DPP-4阻害薬」が登場し、当院でも使用を始めています。この新薬の特徴は単独では低血糖を起こしにくい、体重が増えにくいということがあります。1日1回の内服でよいと、毎食前に飲む薬などに比べると内服する手間が省けるということも大きなメリットといえるでしょう。新薬というと「よく効く、強い」というイメージがあるかもしれませんがどちらかというとこれまでのSU薬（アマリールやオイグルコン等）に比べると効き目は緩やかでその分、膵臓への負担は少ないといえるかもしれません。膵臓でインスリンを分泌する細胞を増やす可能性も示唆されており、これが真実なら更に魅力的な薬といえると思います。ただし、新薬ですので古くから使われている薬に比べると副作用に関する情報や長期に使用した場合の情報が十分に集まっていないともいえます。このため発売後1年間は2週間しか処方できないことになっていますのでこの点は不便と感じる方もいると思います。また、併用薬がある場合には注意が必要ですので、糖尿病専門医として安全な治療を行っていきたくと思っています。ちなみに私が糖尿病治療で大切にしていることは「安全な治療、継続できる治療」です。

